

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	高等教育における国際的な学習成果の評価に関する調査研究等		<b>担当部局庁</b>	高等教育局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21年度・平成25年度		<b>担当課室</b>	高等教育企画課		高等教育企画課長 浅田 和伸		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XIV-2 国際協力の推進				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、 通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)</b>	OECD(経済協力開発機構)が主体となって実施する「高等教育における国際的な学習成果の評価(AHELO)」に関する実現可能性を探ることを目的とした調査(フィージビリティ・スタディ)に参加し、実施内容について適切に調整を図ることにより、我が国においても適切な国際通用性を有する学習成果の評価手法を開発し、我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	OECD高等教育における学習成果の評価(AHELO)フィージビリティ・スタディに参加し、OECDの政府間会合に出席。高等教育における国際的な質保証を図る観点から、必要に応じて協議等を行う。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	7	6	4	14	0	
		繰越し等	0	0	0			
		計	7	6	4	14	0	
	執行額	2	3.5	1.7				
	執行率(%)	28.6%	58.3%	42.5%				
<b>成果目標及び成 果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	OECDの政府会合への出席を通じ、AHELOフィージビリティ・スタディの運営方針や、他国における進捗状況等、我が国のフィージビリティ・スタディ実施内容のあり方について必要な情報を得る。その情報に基づき、有識者及び関係者による協議を行い、フィージビリティ・スタディの実施内容を検討し、高等教育の改善に係る政策立案に資するような分析結果を得る。			%				
	達成度							
<b>活動指標及び活 動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込 み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	OECD高等教育における学習成果の評価(AHELO)専門家会合等への出席			回	3	3 ( 3 )	3 ( 3 )	- ( 2 )
<b>単位当たり コスト</b>	(円/ )		算出根拠	※所掌する行政事務を実施・推進するものであるため、単純に単位当たりのコストを算出することはなじまない。				
平成25・26 年度 予算 内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	拠出金	11百万円	-	事業終了に伴う減				
	委員等旅費	2百万円	-					
	職員旅費	1百万円	-					
	庁費	0.1百万円	-					
計	14百万円	-						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・本事業は、我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資する行政事務に要する経費であり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先の選定に当たっては、会計規則等に基づき複数業者から見積もりを取り寄せるなど、その妥当性や競争性を確保している。 ・事業の実施に当たっては、費目・使途など内容を精査しており、真に必要なものに限って執行している。 ・不用については、計画されていた会議が中止されたことに伴うものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資するためにOECD主催のAHELO専門家会合に出席するなど、事務費に要した経費は、政策実現のための手段として十分に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に係る経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めた。</li> <li>・具体的には、OECDが実施する調査への参加やOECD主催の会議への参加に係る経費等を執行し、教育内容改善に資する知見を得るための事務を円滑に実施した。</li> <li>・旅費、庁費の使途に応じて、有識者や業者などに支出しているが、経費の執行に際しては、執行一覧を作成し、支出先・使途を適切に把握している。</li> <li>・各年度の執行状況等を踏まえ、所要額の算定を適切に見直しており、平成25年度においては、前年度と同規模の必要経費(各国負担の単年度のみの拠出金を除く)を計上している。</li> </ul>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所期の目標を達成したことから、平成25年度をもって廃止する。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0429	平成23年	0180	平成24年	0201

A.文部科学省  
1.7百万円

委員等旅費  
職員旅費

0.8百万円  
0.9百万円

〔OECDが主体となって実施する「高等教育における  
国際的な学習成果の評価(AHELO)」に関する実現  
可能性を探ることを目的とした調査等に参加

※平成21年度にはOECD(経済協力開発機構)へ拠出金を拠出。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	AHELO専門家会合等への出席	0.9			
委員等旅費	AHELO専門家会合等への出席	0.8			
計		1.7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0